

第6回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和3年5月21日	会場	4階 大会議室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

報告・調査事項審議

【1】名寄市立大学の運営について・・・名寄市立大学

1 現況について

- ①学生の在籍状況
栄養学科 164名、看護学科 201名、社会福祉学科 208名、社会保育学科 205名
- ②入学・志願状況
保健福祉学部全体では入学生 197名、平均倍率は2.5倍
- ③令和3年度入学生の出身高校所在自治体は、旭川市、札幌市、北見市の順に多い。
- ④大学の教職員数は、教員数 81名、事務職員数 43名
- ⑤令和2年度卒業生の就職・進学状況は、就職決定者 179名の内、名寄市内就業者は 22名
- ⑥令和2年度実施国家試験等の状況
看護師、保健師、精神保健福祉士の合格率は 100%
管理栄養士 85.4%、社会福祉士 60.5%
- ⑦令和3年度コロナ対策（学修環境）
感染予防を徹底し4月7日から前期を開始
遠隔形態と対面授業を並行して進め、実験・実習等、密を回避するために学生を2グループに分け同じ授業を2回実施することも予定

2 コミュニティケア教育研究センター

令和2年度活動実績報告及び令和3年度活動計画について

活動目標は、「①評議員懇談会等、センター活動に関する学内での意見交換の機会を継続する。②本学教員の研究成果等を地域社会へ発信、還元する機会として本学教員を講師とした公開講座を継続する。③大学紀要、年報の差別化について検討する。④地域課題の発見・解決につながる研究への中長期的な取り組みを改めて検討する。」の4本とする。

〈質疑等〉

Q コロナ禍によりバイトが減っているのでは。学生の状況は。

A 感染予防は強く求めているが、バイトは禁止していない。国の学生に対する支援の状況を見極めていく。

【2】教育行政の推進について・・・教育委員会

令和3年度所管事項の概要について

①学校教育課

児童生徒数 1,838名

学級数は普通学級70学級、特別支援学級43学級

②参事（特命課題担当）

智恵文義務教育学校整備事業として実施設計委託、地質調査委託

名寄中学校・名寄東中学校整備事業として耐力度調査委託

③参事（指導主事）

第3次名寄市教育改善プロジェクト委員会の取組と道教委の指定事業を密接に連動させ、市内小中学校が一体となった取組を推進する。

〈質疑等〉

Q 市内高校への進学者が減少傾向にある。教育都市宣言のまちとして、中学生にとって魅力的な名寄の教育をどうつくり上げていくのか。

A 自分の学びが地域と関わるように、総合的な学習の時間で探求的な学びを子ども達が展開できるようにする。

Q 子ども達のニーズに合っているのかどうか。大学や地域とどのように連携していくのかをしっかりとつくり上げていくためには、力点をおくべきでは。

A 市内2校の高校再編については、「あり方検討委員会」や「魅力化検討委員会」で検討しているが、子ども達が名寄から離れてしまっているのは理解している。次のサポートが必要。6月に道教委から情報が出る。

Q 全国・全道の学力調査への対応は。

A 目標を設定して行っている。

④生涯学習課・名寄市公民館

生涯学習社会の形成、家庭教育の推進、青少年の健全育成、地域文化の継承と創造を主要施策とする。

⑤智恵文公民館

生涯学習社会の形成、家庭教育の推進、生涯スポーツの振興、青少年の健全育成、豊かな地域文化の継承と創造を柱に事業を計画する。

⑥生涯学習・風連公民館

生涯学習社会の形成、家庭教育の推進、生涯スポーツの振興、青少年の健全育成、地域文化の継承と創造を主要施策とする。

⑦児童センター・青少年センター・教育相談センター

教育相談センターでは、登校できずに家庭で過ごしている児童生徒のために、月数回試行的に「外出支援の場（ゆうゆう）」を設け、引きこもりの解消と相談に対応する。適応指導教室を愛称「みんなの教室」とする。

⑧北国博物館

特別展2件、企画展13件の他、講演会、講座・講習会、観察会、青少年対象事業などを予定

⑨図書館

「第3次名寄市子どもの読書活動推進計画」に基づく各種取組、及び「第4次計画」の策定

市立名寄図書館本館建替えに向けた検討

⑩天文台

天体観測並びに研究活動を通じ、天文愛好者・天体観測関係機関との連携をいかすことにより、市民への天文知識の普及と科学教育の振興を図ることを運営方針とする。

⑪学校給食センター

1日約2,140食、年間日数約200日の提供を予定

【3】総合政策部所管事業について・・・総合政策部

1 令和3年度主要事業説明

(1) 総合政策課

①名寄市総合計画（第2次）について

中期基本計画の成果指標（KPI）の中間検証、中期実施計画事業の事務事業評価（行政評価）、中期実施計画ローリングを行い、後期基本計画策定に向けた準備をする。

②地方創生について

・地方創生推進交付金事業

「地域資源を活用したスポーツ×イノベーションプロジェクト」3年目採択内示

・企業版ふるさと納税

「名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく地域再生計画認定事業」

③ふるさと納税について

令和2年度実績は、3,005人から3,166件、54,829,000円

④定住自立圏構想

定住自立圏形成協定に基づく広域防災訓練、構成市町村会議、共生ビジョン懇談会の開催

⑤過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法にかかる市町村計画の策定について

令和3年度から7年度までの5ヵ年計画策定

⑥地域公共交通の取組について

・宗谷本線活性化推進協議会における利用促進の取組

・地域公共交通活性化協議会における利用促進の取組

(2) 秘書広報課

①移住定住推進

移住体験ツアーの受入、移住相談会への出展、首都圏及び市内でのイベント開催、関係人口創出に向けたワーケーションの取組、PR動画の作成・発信

②広報広聴推進

市長訪問広聴、出前トーク

(3) スポーツ・合宿推進課

①スポーツ施設整備事業

ピヤシリシャンツエ改修計画策定業務委託、スポーツセンター暖房設備改修実施設計業務委託、名寄市テニスコート暗渠整備工事など

②スポーツ振興事業

北海道障がい者スポーツ大会、東京パラリンピック採火式、スポーツフェスティバル、JOCジュニアオリンピックカップ2022全日本ジュニアスキー選手権大会兼全日本小・中学生選抜スキー大会など

③スポーツ合宿推進事業

冬季スポーツ拠点化事業として、Nスポーツコミッション運営支援

2 令和3年度第2回定例会提出予定案件（補正予算）について

【4】総務部所管事業について・・・総務部

1 主要施策及び報告事項について

(1) 総務課

令和3年経済センサス ― 活動調査の実施について

調査基準日 令和3年6月1日

対象事業所 市内約1,000件

(2) 総務部（行革・職員・研修担当）

ア 職員研修について

- ・北海道市町村職員研修センターへの派遣研修、オンライン研修の実施予定
- ・実務研修（実務担当者会議等）
- ・外部機関派遣「山形県鶴岡市」「東京都杉並区」
- ・集合研修
- ・e-ラーニング 職階ごとのスキルや知識向上を目的とした研修実施

イ 令和4年度名寄市職員採用について

一般事務職、保健師、保育士、土木技師の各区分について、4月1日から募集を開始〈質疑等〉

Q 職員採用試験について、優秀な人材確保のためには公平公正なガイドラインを設け、職員の子弟であっても採用を検討する必要があるのでは。

A 募集を行い、試験を経て内定された後にも辞退者はある。ガイドラインが必要な時期にもきている。副市長とも協議していく。

(3) 総務部（デジタル推進担当）

ア 高度無線環境整備推進事業について

光ファイバ未整備地域への情報通信基盤整備、令和4年2月設置工事完了予定

イ 本市におけるDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進について

新たなデジタル技術やデータを活用した、目指すべきデジタル社会への対応

(4) 総務部（防災担当）

令和3年度名寄市防災訓練について

- ・「^{きた}北北海道中央圏域定住自立圏」構成自治体による広域での物資輸送訓練を実施

日時 令和3年7月21日（水）

場所 広域物流拠点 旧豊西小学校体育館

名寄市一次集積所 名寄庁舎

避難場所 市立大学、北国博物館、ふうれん地域交流センター

- ・名寄市防災訓練

水害を想定した住民参加型の避難訓練と避難所受付等の職員訓練を想定

日時 令和3年7月21日（水）

場所 ふうれん地域交流センター

2 令和3年名寄市議会第2回定例会に係る総務部関係提出案件について

①補正予算について

②専決処分した事件の報告について

報告者 総務文教常任委員会副委員長 山崎 真由美